

ニュースリリース

2016年3月15日

カナダ産メープルシロップが、健康機能をもつ自然食品群に仲間入り！！
～緑茶や赤ワインのように、メープルシロップがアルツハイマー病に効果がある可能性を発見～

カナダのメープルシロップ産業を代表するケベック・メープル製品生産者協会（カナダ・ケベック州）は、2016年3月13日と14日に開催されたアメリカ化学会の年次会合におけるシンポジウムにおいて、国際的な研究グループによって発表された、神経変性病、特にアルツハイマー病の予防において、天然の食物に優れた効果が期待できるという24の研究結果を公表しました。このシンポジウムにおいて、天然のメープルシロップが初めて、アルツハイマー病の損傷から脳細胞を保護する見込みがある健康機能食品群に仲間入りしました。

トロント西部総合研究所のドナルド・ウェーバー博士の研究では、天然のメープルシロップの抽出物が、脳細胞で発見される2種類のタンパク質、βアミロイドとタウペプチドの凝集や誤った折り畳みを防ぐ手助けをする可能性があることを発見しました。細胞タンパク質が不正に折り畳まれたり凝集したりすると、それらはアルツハイマー病や他の脳疾患を発症する原因となるプラークを蓄積、形成します。

シンポジウムでの別の研究は、天然のメープルシロップの抽出物が、βアミロイドタンパク質のフィブリル化（もつれ）を抑制することや、齧歯（げっし）動物のミクログリア脳細胞における神経保護効果があることを示しました。研究者たちは、ミクログリア脳細胞機能の減少は、アルツハイマー病や他の神経系の問題に影響することを発見しました。また、メープルシロップの抽出物は、実験室での研究において、アルツハイマー病の回虫モデルの寿命を延ばしました。この研究は、テキサス州立大学の研究者と協働で、シンポジウムのオーガナイザーであるナヴィンドラ・シーラム博士が率いるロードアイランド大学によって行われました。

「緑茶や赤ワイン、クルクミンやザクロといった自然食品が、アルツハイマー病に効果がある可能性のための研究は続けられています。今後のヒト介入による更なる検証が必要とされますが、いま実験室での研究の段階で、カナダ産メープルシロップの高フェノール抽出物に、赤ワインに含まれる成分、レスベラトロールと同様の神経保護効果がみつけられました」とシーラム博士は述べました。

これまでの研究結果は、過去数年において、ユニークな健康効果をもつ100%天然の生成物であるカエデの樹木から直接採取された樹液を煮詰めてつくるメープルシロップにみられる固有の性質の発見に役立っています。メープルシロップの成分による予防効果がアルツハイマー病の治療に役立つ可能性があるかどうかは、更なる齧歯（げっし）動物、最終的にはヒト介入研究が必要とされます。

ケベック・メープル製品生産者協会のセルジュ・ボーリュエ会長は、これらの研究によって得られた知見、および天然のメープルシロップが神経系の健康に効果がある可能性について胸を躍らせています。そして次のように語りました。「ケベック・メープル製品生産者協会と7,300のケベック・メープル製品生産企業は、食品と健康のより良い理解を目指し、科学的研究を支えています。天然のメープルシロップの健康効果の研究は2005年に始まりました。天然のメープルシロップは、100種類以上の生物活性化合物を含み、そのうちのいくつかは抗炎症の特徴を持つことは既に知られています。脳の健康における研究は新しく、メープルシロップのこの分野における更なる可能性を楽しみにしています」

アルツハイマー病は、段階的な記憶喪失を通じて日常の生活機能を害する進行性の神経変性疾患です。現在アルツハイマー病を完治する方法はありませんが、症状の治療は可能であり研究は続いています。日本はいま超高齢化社会を迎えており、2025年には2,200万人が75歳以上の高齢となります。統計によると、現在462万人（65歳以上、2012年現在）が認知症を患っており、そのうちの約半数がアルツハイマー病を疾患しています。2025年には、この認知症の患者は700万人にも増えると予想されています。

このリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社つきプランニング 担当：外川・飯塚
togawa@tsuki-p.com / iizuka@tsuki-p.com

〒104-0041 東京都中央区新富2-12-6-3F Tel: 03-6222-7115 / Fax: 03-6222-7116



ナヴィンドラ・シーラム博士 (Ph.D. Navindra P. Seeram)
ロードアイランド大学 薬学部 助教授



旧：カリフォルニア大学ロサンゼルス校 薬学部 AD&非常勤講師
博士課程終了後の研究：ミシガン州立大学
博士課程：西インド諸島大学（ジャマイカ）

米国植物評議会（The American Botanical Council「ABC」）諮問機関や農業食品化学ジャーナルの編集諮問機関、漿果（しょうか）研究ジャーナル及び天然食品の応用研究の国際ジャーナルにおける編集諮問機関に所属しています。また、130件以上の論文審査のある論文の共同執筆、7本の論評記事、著作本16章分、そして6つの国際特許を持っています。更に、共同編集において3冊の本を発行、CRC Press/Taylor 出版の Clinical Pharmacognosy シリーズの創刊者兼編集者です。シーラム博士が率いる生体活性植物学（Bioactive Botanical Research Laboratory）の研究チームは、人間の慢性疾患に対する予防及び治療的な効果を持つ植物性食物や天然食品の研究をしています。

2009年：アメリカ化学会農業食品化学部門若手化学者賞
2017年：アメリカ化学会農業食品化学部門議長に選任予定

2014年及び2015年におけるトムソン・ロイターの農業化学分野で、最も引用された学者の一人（2002年～2015年のWeb of Science 索引引用）です。薬用食用植物に関するメディアや人気媒体でたびたび引用されています。

カナダ産メープルシロップ

カエデの樹液だけを煮つめてつくる100%天然の食品で、日本人に不足しがちなカルシウムやマグネシウム、たんぱく質や、糖の代謝に不可欠な亜鉛、余分な塩分を排出するカリウムをバランスよく含んでいます。また、さまざまなビタミン、アミノ酸、たんぱく質、有機酸を含み、シーラム博士により、63種類ものポリフェノールが特定されています。煮つめる過程で殺菌される、着色料や添加物を含まない自然食品であるため、乳幼児や身体の弱っている人に与えても安心です。さらに最近の研究では、肝臓保護効果があることや、肥満を抑制する可能性があることが確認され、世界各国で健康価値の高い自然食品として注目されています。



ケベック・メープル製品生産者協会 概要 Federation of Quebec Maple Syrup Producers (FPAQ)

ケベック・メープル製品生産者協会(FPAQ)は、1966年に設立された約7,300のメープル製品生産企業を代表する団体です。会員企業の経済的、社会的、精神的利益の保護と促進をミッションとし、各会員は共同でメープル製品全体の品質維持、知識の向上、そして国内外での市場活動を行っています。ケベック州は、世界のメープルシロップ生産量の約71%、カナダ産メープルシロップの90%を生産しています。ケベック・メープル製品生産者協会は、カナダ産メープルシロップ産業全体を代表して、科学研究活動など国際的なイノベーションネットワークをリードしていることを誇りとしています。カナダ産メープル製品の10%はオンタリオ州、ニューブランズウィック州、ノバスコシア州で生産されています。

ケベック・メープル製品生産者協会は、砂糖の消費増加をお勧めしません。他の砂糖類に比べより健康に良い成分を含む天然のメープルシロップ適量を、甘味料としてお選びください。

日本公式ホームページ：<http://www.pure-maple.com> (日本語)

日本公式 Facebook：<https://www.facebook.com/puremaple> (日本語)

カナダ公式ホームページ：<http://www.siroperable.ca> (仏語・英語) <http://www.ilovemaple.ca> (消費者向け、仏語・英語)